



校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ ㊹

令和3年1月8日（金）

「希望の2021年」 ーチェンジ・チャンス・チャレンジー

あけましておめでとうございます。

2021年、令和3年という年が、宗高・宗中のすべてのみなさんにとって素晴らしい年になるように、そして、みなさんたちひとり一人の努力によって充実した忘れ得ぬ1年にしてくれることを心から願っています。

今日から「校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ」の再開、新年第1号です。

今年は、元旦から嬉しいニュースが飛び込んできました。昨年みなさんに紹介した5000M競歩で高校日本一になった梅野さん（高校3-2）が、元旦に開催された「第69回元旦競歩大会」（神宮外苑絵画館20km競歩路コース）5km競歩で、3年ぶりの記録更新となる大会新記録で、2位の選手に1分以上の差をつけての見事な優勝を果たしてくれました。これまでの大会記録は、高校記録保持者でオリンピック選手だった人の記録ですから、この優勝は改めて梅野さんの実力を内外に示すことになりました。

梅野さんのこの見事な優勝は、2021年の本校と宗高・宗中のみなさんの明るい展望を予想させる素晴らしいものだと思います。

さて、新年早々私事で申し訳ないのですが・・・昨年11月から12月末にかけて、あまりにも傷んでいた自宅の25年ぶり、初めての大規模リフォームを行いました。家庭でリフォームの経験がある人はわかると思いますが、住みながらリフォームを進めるためには、何年分もの片づけを家中何か所もしなければならず、それはもう大変でした。その片づけによって、おびただしい量の『ゴミ』となる物＝不用品」が出ました。片づけ前の家の状況を当たり前と思って、普通に生活していたつもりでしたが、おびただしい量の『ゴミ』となる物＝不用品」を目の当たりにした時、身の回りにこんなにも無駄なものや不要なものがあったのか、そんな中で生活していたのか！？と愕然としました。そうし

た『ゴミ』と化した」物を処分したら、各部屋は驚くほどスッキリし、気持ちの良い全く新しい空間に生まれ変わりました。何年もの間、当たり前と思い生活していた環境が決して「当たり前」だったのではなく、片づけてみたら全く「新しい世界」が現れたことは新鮮な驚きでした。

昨年末から、新型コロナウイルス感染拡大第3波は、猛威をふるい、昨日の全国の感染者数が7570人（うち重症者数が796人）、20都府県で過去最高の感染者数を記録しています。福岡でも388人と過去最高の感染者数を大幅に更新するなど、今後の感染状況は決して油断できない極めて厳しい状況にあります。また、昨日首都圏の1都3県には2回目となる「緊急事態宣言」が発令されました。

このように私たちの生活は、昨年初めからずっと新型コロナウイルスによる大きな影響を受け、当たり前に来ていたことができなくなったり、形を変えたり、まったく新しいことを始めなければならないといった、例年とは全く違った生活を余儀なくされる状況が続いています。

今回の自宅のリフォームを通して、この新型コロナウイルスの影響を一種の「社会のリフォーム」と捉えてみることもできるのではないかと思います。

今まで当たり前だったことが決して当たり前ではなくなり、それによって、オンライン学習やリモートによる在宅勤務等をはじめとした「新しい生活様式」をはじめとする社会変化が起こり、新型コロナウイルス感染拡大前とは全く違う、良くも悪くも「新しい社会」の出現を見ようとしています。

みなさんも街でよく見かける「牛井の吉野家」は、かつて倒産を経験し「奇跡の再建」を果たしたことでよく知られています。その「奇跡の再建」を果たした中心人物である「吉野家ホールディングス」の安部修仁 会長は、「これからの時代は、思いやフィロソフィー（哲学・理念）」といった無形なものは守らなければいけないけれど、有形のものはすべて変わってもかまわない。だから、未来の吉野家は牛井をやっていないかもしれない。世の中が変わるほど、そこにチャンスが生まれる。思いやフィロソフィー（哲学・理念）が一番重要で、姿形あるものをはじめ、それ以外はすべて変わっていい。」と述べています。そして、現在のこの新型コロナウイルス禍においては、「世の中の変化は足元の要素がまず変わっていく。そのことが生活様式

とか生活観念とか常識を変えていくのだけれど、そういうものが大きく変われば変わるほど、そこにチャンスが生まれる。そのチャンスに何を課題に据えてチャレンジするか。チャレンジはチャンスを生み、そのチャンスはチャレンジをもって享受することができる。そういう意味ではきっと今はよい時代なのです。」とも述べています。

かつて誰も経験したことのないこの新型コロナウイルス感染拡大に伴う大きな社会変化に遭遇したみなさんは、この「新しい社会」を築いていく、まさに「先駆者＝フロントランナー」なのです。吉野家ホールディングスの安部修二 会長が言うように、みなさんたちひとり一人が、「変化」によって生まれる「チャンス」に、何を課題に変えて「チャレンジ」し、どう生きていくか、どういう社会を形成していくかによって、これからのわが国の行末が決まると言っても決して過言ではありません。2021年、令和3年はそんな「新しい社会」を築く最初の一步の年になるのだと思っています。これからの日本や世界は、まさにみなさんの双肩にかかっているのです。

「ピンチをチャンスに」して、「チャレンジ」していくことによって、大きなチャンスをもものにできる！だからこそ「きっと今は良い時代」なのだと言えるのではないのでしょうか。

そういう意味において、宗高・宗中のみなさんと共にこの2021年、令和3年という年を「希望の年」にしていこう！ 否、必ずしてみせる！という思いを強くしています。

高校3年生のみなさんの多くは、いよいよ受験本番を迎えます。ここからがこれまでの受験生活の中で最も大事な時期です。全く焦る必要はありません！冷静にこれからしなければならないことを見極め、そのために何をどうしなければならないのかをしっかりと考え、計画を立て、限られた時間の中でできることを最後の最後まで、決して諦めたり、投げ出したりすることなくやり抜くことによって、自分自身では目に見えない大きな力がつくことは間違いありません！

ここからの約3ヶ月の取り組み次第で、4月以降の、更にはこれからのみなさんの人生をいい意味で大きく変える局面(＝チャンス)を迎えているということを忘れずに、明るく、元気にがんばり抜いてほしいと願っています。

中1から高2のみなさんにとっても、これからの約3ヶ月間が非常に重要であることは、高校3年生と全く同じです。この3学期、これからの約3ヶ月の生活や学習のすごし方、取り組み方によって、次の学年でのありようが、良くも悪くも大きく変わります。

このことを決して忘れてはいけません！ひとり一人、生活、学習両面の現在の自分の課題を明確にし、その改善に計画的に、真剣に取り組む3学期にしてください。

さあ、今年も宗高・宗中は「明るく、楽しく、いきいきと。」力強く、しっかり前に進んでいきます！

明後日1月10日（日）、宗像中学校の入学者決定適性検査・作文が実施されます。みなさんの後輩となる受検生のこれまでの努力の成果が如何なく発揮できるように、みなさんと共に祈り、応援したいと思います。

校長 深瀬 信也